

子どもお仕事参観日 Vol.5 社会福祉法人男鹿更生会

子 ど も
お 仕 事 参 観 日

『子どもお仕事参観日』とは、パパ・ママが普段どんな職場で働いているか子どもたちが見学する日。子どもと職場の人たちが交流することで、それぞれに大事な家族がいるんだ、お互い助け合っていこう、と職場の皆さんに再認識してもらう特別な 1 日です。

今回の訪問先はこちら！



社会福祉法人男鹿更生会

玉の池荘

(男鹿市)

障害を抱えている方々が潤いのある生活ができるよう、安心・安全をモットーに色々な支援をしている施設です。

今回の参加者はこちら！

2人のママのお子さん、2人です。

ゆうまくん（10）

みずきさん（10）

『子どもお仕事参観日』
はじまります！

皆で自己紹介をしよう

子どもたちがママの働く玉の池荘にやってきた日は、折しも台風が接近中でした。あいにくのお天気でしたが、スタッフさんにお出迎えされて「子どもお仕事参観日」が始まります。

菅原管理課長の司会のもと、高桑施設長からごあいさつをしてもらってから、子どもたちやママ、皆で自己紹介をしました。

少し恥ずかしそうな様子でしたが、参加している皆の前でしっかりお話ができましたね。



玉の池荘ってどんなところ？

社会福祉法人男鹿更生会では男鹿半島の内陸部を中心に、障害のある方を支援する施設の運営をしています。今日の会場である玉の池荘では、医務室から見学が始まりました。

医務室には入所者さんのお薬や絆創膏などが置かれています。

間違えないよう朝・昼・夕に分けてお薬を保管しているんだよ、というママのお話に、子どもたちも納得顔。

学校の保健室にちょっと似てる！という声もあがりました。



医務室の見学が終わると、ママとはしばしのお別れ。担当するお部屋に向かうママを見送ります。

ここからは靄山支援課長に先導してもらいながら、まずは事務所にお邪魔しました。

事務所で働くスタッフさんたちは、子どもたちが入ってくると拍手で歓迎！

暖かな対応に、ちょっぴり固かった子どもたちの表情も段々と緩んできます。



どんなお仕事をしているのか尋ねる子どもたちに、スタッフさんはわかりやすくお話ししてくれました。

スタッフさんに、いつもママがお世話になってます、と大人顔負けのお礼をする子どもたちです。



次に移動した浴室では、いくつかのお風呂を見せてもらいました。

一人用の小さなお風呂や普通のお風呂があり、普通のお風呂には入所者さんが危なくないよう、手すりが設置されています。



脱衣所では、菅原管理課長が子どもたちを手招きしています。

洗面台の下部にあるレバーを操作すると…洗面台の高さが変わりました！

入所者さんそれぞれが使いやすいよう配慮された仕組みなんですね。



このほか、食堂や洗濯室、自動販売機スペースなどを見せてもらいました。

食堂は見晴らしが開けた方がガラス張りになっていて、晴れた日には寒風山の裾野に広がる田んぼなど、のどかな景色が見られます。

洗濯室では、洗濯機はフル稼働！という粉山支援課長に子どもたちはびっくりした様子です。



ママのお仕事を見学！

施設内の見学が一段落して、子どもたちはママがお仕事するお部屋に向かいます。

スタッフさんにごあいさつをした後は、ママと一緒に入所さんとふれあったり、お部屋などをまわったりしました。



入所者さんは小さなお客さんを見ると、かわいいね、ママに似てるね、などとにこにこしながらお話してくれました。



見学の合間に、スタッフさんとママがいつものお仕事内容などを教えてくれます。
ちょうど今日はカラオケの真っ最中。
ママやスタッフさんたちが、利用者さんが機械に曲の番号を入れるのをお手伝いするところを眺めます。
おや、皆と一緒に楽しそうな笑顔ですね！



定刻になると、ママが入所者さんにお薬を出します。
子どもたちはお薬を飲むためのお水を手渡しお手伝いしました。
コップを洗い場に持っていくまでをお手伝いして、子どもたちもママのお仕事にふれることができましたね。



ママへメッセージを贈ろう

ママのお仕事見学を終えた子どもたちに、サプライズのプレゼントが待ちっていました。
思わぬお土産に、子どもたちも笑顔になります。



プレゼントを受け取った後は、ママへメッセージを贈ります。

初めてママのお仕事現場にふれてみて、どんなことを感じたかな？

お家の中でも外でも、いつもお仕事を頑張るママへ贈る子どもたちの言葉に、ママやスタッフさんが真剣な表情で耳を傾けます。



記念写真は笑顔でパチリ！

台風も吹き飛ばすほどの思い出となった『子どもお仕事参観日』でした。



『子どもお仕事参観日』を終えて

<ママから>

- 同じくらいの子どもがいるスタッフのほか、子育てが一段落した世代のスタッフとも子どもについて話すことがあります。子育ての先輩なのでアドバイスももらっています。
- シフト勤務で夜勤もありますが、子どもが体調を崩した時など休みがとりやすいと思います。周りが支援してくれるので安心して休むことができますね。また、皆協力してくれるので、他の人が休むときは自分もサポートするようにしています。
- これまで仕事の話をすることはありませんでしたが、なかなか子どもには理解しづらい職場。今回自分が働いている現場を見て、考え方が変わるかもしれないと思いました。

<職場の方から>

- 子どもにとって有意義な試みだと思います。子どもは大事なので、何かあれば支援をしていきたいですね。
- イベント以外でスタッフの子どもが来るのは初めて。外部から訪問者があると、入所者から良い反応があります。
- 参加者以外のスタッフも開催にあたって協力してくれました。また、参加希望者を募る際、子どもだけでなく孫の参加はどうだろうという話がありました。次に開催する機会があれば、孫の参加も検討したいです。



社会福祉法人男鹿更生会さん ありがとうございました！

秋田県は、仕事と育児・家庭を両立しやすい職場づくりを応援しています！

詳しくは、秋田県企画振興部人口問題対策課まで Tel：018-860-1249

こちらもご覧ください。

○秋田県少子化対策総合ウェブサイト ベビーウェーブ・アクション

<http://common3.pref.akita.lg.jp/babywave/>

○ベビーウェーブ・アクション Facebook

<https://www.facebook.com/babywave>